

どうぶつの赤ちゃん ますいみつこ文

第一次指導(1時間扱い)(カンガルーも含めて)

〔区画〕 段落 十区画 第一段落 ○(まる)

第二段落 1 ～ 第十段落 9

一 よむ (音読 十名)

二 とく

○ 題目(題名 どうぶつの赤ちゃん 板書)

① 動物の赤ちゃんの話。皆も赤ちゃんだった。その時の食事は。(お乳)

② この動物の赤ちゃんもみんなお乳を飲んでる。(板書 おちち) 一番長くお乳を飲んでるのは。(カンガルー 板書)

③ カンガルーの絵。お母さんを指して…。どうしてお母さんと分かるか。(袋)

④ 産まれたばかりの赤ちゃんの方を指してごらん。重さどのくらい。(一円玉) 皆さんは三千枚ぐらいなの。不思議ですね。

④ お乳を飲むのが短いのは。(しまうま) その絵を…。(しまうま 板書) 赤ちゃんを指さして…。赤ちゃんだと分かるのは。(p95…大きや、毛の色、脚、p96-97)

⑤ 赤ちゃんが歩き始めるのは。(三十分) 皆さんは。(十か月) 不思議ですね。

⑥ 最後に残った動物は。(ライオン 板書) (p94) ーのお母さんは、赤ちゃんをどうしているの。(歩けない＝運ぶ) 縞馬は、

三十分で立てるのに面白いね。

◎ ひびき

⑦ この中で一番強い動物は何か。(ライオン) 赤ちゃんで比べると、何が一番強そうかな。(しまうま) 動物の赤ちゃんの不思議が書いてある話。

○ 手引き

指示 動物の赤ちゃんのどんなことが書いてあるか、一つずつ短い言葉で書く。

三 よむ

⑧ 最初は皆でやりましょう。(板書) 1で「赤ちゃん」とある文は。(ライオンの赤ちゃん…大きいです。)

四 かく

(子ねこと書く) 以下同様 7まで 2では(あるくこと)

3では(二か月)

4では(やぎ)

5では(三十分)

6では(七日)

7では(一円玉)

8 まえあし (各自で探して書く)

9 ふくろの中

五 よむ (全員で指読後、指音読一〜二回) 六 とく

○ 事実・区分

① 安全な赤ちゃんは何ですか。(カンガルー)

ー) どうしてですか。(袋の中にいる)

② 敵が襲ってこないのは何の赤ちゃんですか。(ライオン) だから、逃げなくてもよいので、何ができなくても大丈夫。(あるくことの下に × を板書)

③ 逃げなくてはならない縞馬は、直ぐに逃げられるように生まれてくる。(三十分) そして、次の日には。(はしる 板書)

④ だから、体も大きく生まれる。どのくらいか。(やぎ) それに比べて、襲う方のライオンの赤ちゃんは。(子ねこ) 面白いね。

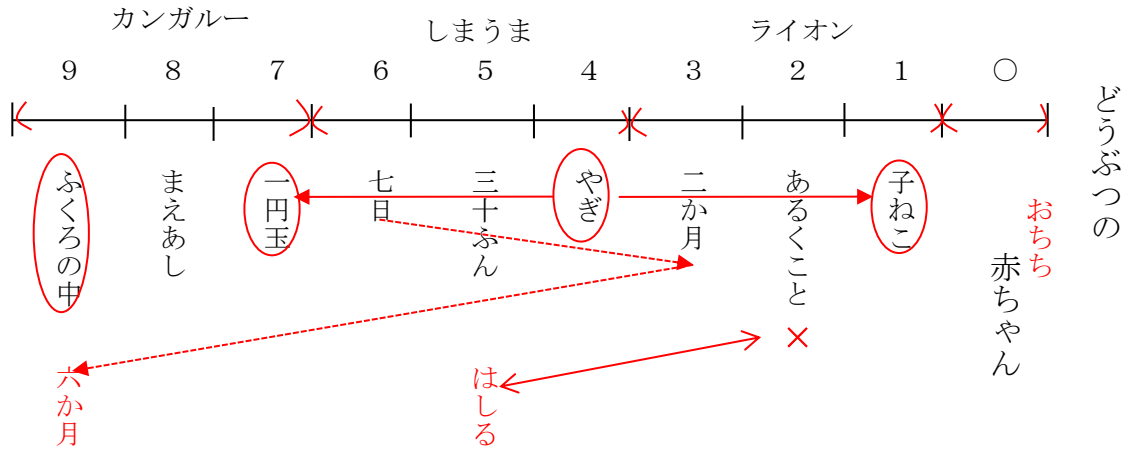
⑤ 面白いね。生きていられるのか心配するくらいのお乳だけを飲んでる日にも違うね。短い順に。(七日 二か月 六か月 (板書))

山

⑥ 三つの動物の赤ちゃんの面白い話です。明日は、ライオン、明後日は、しまうま、その次に、カンガルーです。(区分 板書)

○ 余韻(動物の赤ちゃんを見てみたいなあ)

〈板書事項〉



第二次指導第一時

一 よむ 十名

二 とく

○ おさらい

- ① 復習をします。(横線と区分板書) 三分もたたないで立てるのは、何の赤ちゃん。(カンガルー 5の下に 三―と板書)
 - ② 体も大きく…。(やぎ やー4の下に板書)
 - ③ 1円玉くらいの重さの赤ちゃんは(カンガルー 7の下に 一玉 板書) そんな小さくてもいいのは、お母さんのお腹に何があるから。(ふくろ ふーと板書) その袋に入るのに使うのが。(前足 まー板書)
 - ④ 目も見えないのに前足で袋まで行くのだそうです。驚きだね。同じように目の見えない赤ちゃんは。(ライオン) 大きさは。(子ねこ 子―) 人間の赤ちゃんも歩けません(ライオンの赤ちゃんも歩けない。(あー板書) 3と6は、お乳だけを飲む日にちを書いたが。(二― 七― 板書)
- ◎ 承接
- ⑤ 今日は、ライオンのことを詳しく考える。一緒に草原に生活しているのは何か。(縞馬) ライオンは縞馬などの草を食べる動物の肉を食べる。狩りができるまでには、どのくらいかかるの。(一年以上) 初めて、肉を食べるは。(二か月過ぎ) 皆さんの離乳食は五か月過ぎてからで、一年半位離乳食を続けてから大人と同じものを食べる。

○ 手引き

指示 生まれたての赤ちゃんことを書く。子ねこの大きさです、の次を書く。

三 よむ

四 かく

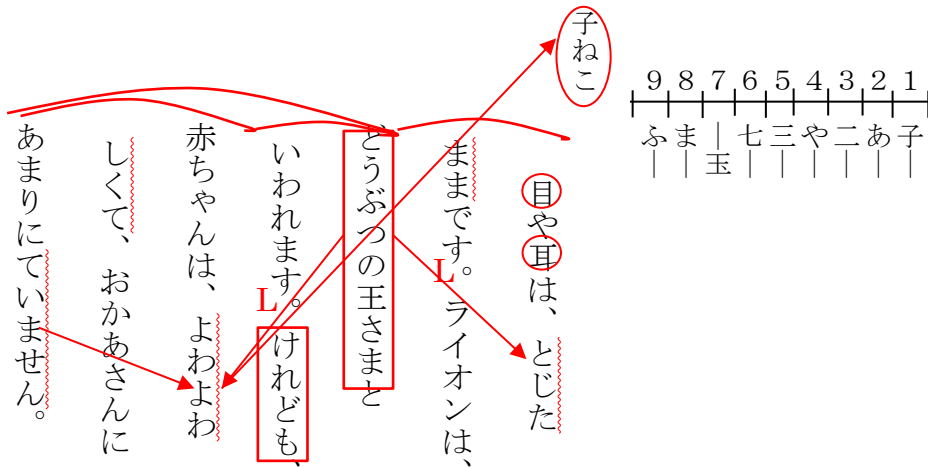
目や耳は、とじたままです。ライオンは、どうぶつの王さまといわれます。けれども、赤ちゃんは、よわよわしくて、おかあさんにあまりにいていません。

五 よむ (指黙読一回 指音読二回)

六 とく

○ 語義・区分

- ① 難しいことはないか。とじたまま 王さま けれどもよわよわしくて にていません
- ② 二つに分ける。(赤ちゃんの姿と感想) 感想を二つに分ける。(けれども)
- ③ 赤ちゃんとお母さんは、あまり似ていない。ライオンのお母さんは、どんなお母さんか。(動物の王様)
- ④ 王様のライオンは、この草原で一番強い動物です。でも、赤ちゃんは、どんな風に見えるのかな。(弱弱しく)
- ⑤ 弱弱しいと感じるのは、どい。(目、耳) 目が見えなくて、耳が聞こえなければ怖くない。大きさも(子ねこ)。



〈板書事項〉

- ⑥ 弱い赤ちゃん、面白いね。明日は、襲われる縞馬の赤ちゃんを考える。
- 余韻
ライオンの赤ちゃん、飼ってみたいなあ。
- 七 よむ (指音読一回 消しながら暗唱…)

第二次指導第二時

- 一 よむ 十名
- 二 とく
- おさらい
 - ① 弱いライオンの赤ちゃんの目は、どうなっているか。(閉じている) 皆さんも、生まれたばかりのときには、目がはつきり見えなかったのよ。
- ◎ 承接
 - ② 脚も弱いよ。(歩けない) 動くのにもお母さんにくわえて運んでもらうの。でも、目も耳もうまく働かないので出歩くとお母さんライオンは心配なの。ふらふら出歩くとハイエナに襲われたりするからよ。
 - ③ 今日は、ライオンに襲われる縞馬について考える。逃げられるように走れるまでに時間がかからない。(次の日)
 - ④ ライオンの赤ちゃんと違ってお母さんの縞馬と赤ちゃんはそっくり、どこが。(耳・目・模様)
- 手引き
 - 指示 縞馬の赤ちゃんの食事を書く。
- 三 よむ
 - しまうまの赤ちゃんが、おかあさんのおちただけのんでいるのは、たった七日ぐらいのあいだです。
- 四 かく
- 余韻
 - 縞馬の赤ちゃんはすごいなあ。
- 七 よむ (指音読一回 消しながら暗唱…)
- 語義・区分
 - ① だけ たった そのあと も
 - ② 二区分 (乳、乳と草)
- ◎ 心
 - ③ ますいさんは、縞馬の赤ちゃんことを調べて驚いた。前は何。(乳だけ飲む七日) ライオンは二か月、皆さんは五か月。その驚きの気持ちが出ているのは。(たった)
 - ④ 後の方では。(自分で草も) 皆さんは、離乳食食べさせてもらってからののに、お母さんと同じものをもう食べるのね。
 - ⑤ ますいさんは、動物園の園長さんです。今度、動物の本を見てごらん。面白いよ。
- 五 よむ (指音読一回 指音読二回)
- 六 とく
- 語義・区分
 - ① だけ たった そのあと も
 - ② 二区分 (乳、乳と草)
- ◎ 心
 - ③ ますいさんは、縞馬の赤ちゃんことを調べて驚いた。前は何。(乳だけ飲む七日) ライオンは二か月、皆さんは五か月。その驚きの気持ちが出ているのは。(たった)
 - ④ 後の方では。(自分で草も) 皆さんは、離乳食食べさせてもらってからののに、お母さんと同じものをもう食べるのね。
 - ⑤ ますいさんは、動物園の園長さんです。今度、動物の本を見てごらん。面白いよ。
- そのあとは、おちちものみますが、じぶんで草もたべるようになります。

〈板書事項〉

ライオンの子の略画 (略) 輪郭 目・耳・脚
しまうまの子の略画 (略) 輪郭 目・耳・脚

しまうまの子の赤ちゃん
が、おかあさんのおち
ちだけのんでいるのは、
たった七日ぐらいの
あいだです。
そのあと、おちちも
のみますが、じぶんで
草もたべるようになり
ます。

第二次指導第三時 (後日になります)

- 一 よむ 十名
- 二 とく
- 〇 おさらい

- ① 皆さんは、五か月位から離乳食を始めるが、縞馬の赤ちゃんは、親と同じ草を何日に食べ始めるか。(七日目 板書)
- ② どうして、縞馬の赤ちゃんは早く大人と同じようなことができるのかな。(逃げられる にげる 板書)

◎ 承接

- ③ 自分で逃げなくてもいいのは。(カンガルーの赤ちゃん)
 - ④ お母さんのお腹の袋の中には、何があるのかな。(おっぱい 補説 四つも)
 - ④ カンガルーの赤ちゃんの産まれた時の様子は。(大きさ 体の作り 板書)
- 〇 手引き
指示 増井さんの驚いたことを考えながら赤ちゃんのすることを書く。

- 三 よむ
- 四 かく (板書事項参照)
- 五 よむ (指黙読一回 指音読二回)
- 六 とく
- 〇 語義・区分

- ① それでも はい上がる 自分の力で
- ② そして二区分 (はい上がる はいる)
- ◎ 心
- ③ このお話を書いた増井光子さんが驚い

て、みんなに知らせたいなど思ったのは何処でしょうか。(じぶんの力で)

- ④ 目も耳も分からに一円玉の重さの赤ちゃんが「自分の力」(お母さんの助けなし)でお腹の袋に入るのす。その力は。(小さな前足 はう・上がる 入る)
- ⑤ 袋の中は、赤ちゃんにとつてどんなところかな。(あたたかい おっぱい 安全)

〇 余韻

カンガルーの赤ちゃんはすごいなあ。
七 よむ (指音読一回 消しながら暗唱…)

〈板書事項〉

しー 七日 にげる
カー 一円玉 目 ~~みみ~~
口 あえあし
それでも、この赤ちゃん
は、小さなまえあしで、
おかあさんのおなかに
はい上がっていきます。
そして、じぶんの力で、
おなかのふくろにはい
ります。
あたたかい おっぱい